



いちばん星 ★ 大阪弁トーク

「まるで時代劇ですな」
 「悪代官物語・菓子の中の小判の巻、森山屋！おぬしも悪じゃの一」
 「あべこべですよ、代官のほうが森山屋にペコペコしてる」
 「原発を動かしてるのはウランと思ってたけど、ワイロやったんや」
 「ばれても真相はウヤムヤのまま。森友と一緒にや」
 「庶民をだましといてNHKに圧力かけた郵政グループといい、この国はどうなってるんや」
 「公文書偽造財務省の大臣がずうっと居座っている、加計問題のキーパーソンが文科大臣になるんですからね。タイは頭から腐る」
 「そのうえ、消費税は上げるわ、アメリカから武器の爆買いはする、やりたい放題や」
 「防衛省は5兆3千億の予算を要求しているらしいでっせ」
 「こないだ水問題の学習会にいったんです」（突然脱線？）
 「水道の耐震化が絶対必要やゆうことがわかりました。耐震化には市町村で億単位のお金がいるんやて。ところが、国が出した交付金は大阪全体で1億5500万や。イージスアシェア1基の半分のお金しか出さへん」（それが言いたかった！）
 「まちがっている。国民の血税の使い方！」
 「この上憲法改悪して自衛隊と総理大臣にフリーハンド与えたらどうなります。いつか来た道でっせ」
 「黙ってたらあきません！」 「軍拡より防災が大事！」
 「11月3日の市民パレード、豊中市役所前に集まって、みんなで歩きましょう！声を上げましょう！」

2019 秋の催しカレンダー

イベント名	日時	場所	内容
第11回市民力 (しみんりょく)フェスタ	10月27日(日) 10～15時	大塚公園(豊中市中桜塚4丁目)	「環境・共生・平和」をテーマとした市民の手作りのフェスティバル
日韓関係解決の糸口を求めて	10月29日(火) 18:30～20:30	エル・おおさか 本館 5階研修室(天満橋駅)	康宗憲さんの講演(大阪弁護士 9条の会他 5 法律家団体共催)
市民パレード IN とよなか	11月3日(日・祝) 10:45～12:00	豊中市役所前集合～豊中駅までパレード	「変えたらあかん！平和憲法」誰でも気軽に参加できます
おおさか総がかり集会	11月3日(日・祝) 13:30～15:30	扇町公園(天満駅、扇町駅)	「輝け憲法！いかそう9条！」ゲストスピーチ、各政党からのアピール等
みのおピースフェスタ 2019 上映会	11月4日(月・祝) 11:00～(3回上映)	グリーンホール(箕面市立市民会館)	「誰がために憲法はある」上映、高校生企画、ライブ、マーケットなど
2019 おおさか女性行進	11月9日(土) 16:10 集合	新町北公園(大阪市西区新町1-5)	「声をあげ生きづらい社会を変えていこう！」赤いものを身に着けて歩こう
憲法のつどい 2019	11月9日(土) 14:00～	PLP 会館5F 会議室(天満駅、扇町駅)	「9条いかして 平和をつむぐ」高山佳奈子さん講演、特別アピールなど
2019 年小学校教科書採択道徳と社会の実態	11月30日(土) 13:30～16:00	大阪市立中央会館(地下鉄堺筋線長堀橋駅)	「今年度の教科書採択の結果」と日韓問題の今を考える講演
さようなら原発 1000 人集会	12月1日(日) 14:00～	いたみホール(伊丹駅)	武藤類子さん(福島原発告訴団長)、樋口英明さん(元福井地裁裁判長)

2019 あいちトリエンナーレ「表現の不自由展・その後」中止問題は何を問うているのか？

松岡幹雄（市民連合・豊中）

「表現の不自由展・その後」とは

「トリエンナーレ」とは、3年ごとに開かれる国際美術祭をいう。「あいちトリエンナーレ」は、2010年から3年ごとに開かれ毎回60万人の観客を集めてきた。行政は、「金を出すが口は出さない」をモットーに最高責任者の芸術監督がテーマ設定や作家の選定に個性を発揮してきた。「トリエンナーレ」は、毎回話題を呼んできた。美術祭実行委員会会長は大村秀章愛知県知事、そして、今回監督には津田大介氏が起用された。津田氏は、国内で初めて参加作家数を「男女平等」と発表し注目を集めてきた。津田氏は、昨年、この「トリエンナーレ」の中の企画展として「表現の不自由展・その後」をやるべきだと提案した。

「表現の不自由展」とは、何か？

「日本における『言論と表現の自由』が脅かされているのではないかという強い危機意識から、組織的検閲や忖度によって表現の機会を奪われてしまった作品を集め、2015年に開催された展覧会。作品が、当時いかにして『排除』されたのか、実際に展示不許可になった理由とともに展示された。今回は、『表現の不自由展』で扱った作品の『その後』に加え、2015年以降、新たに公立美術館などで展示不許可になった作品を、同様に不許可になった理由とともに展示する」（企画展実行委員会H.P）というものだ。自由に言論や表現がしづらくなってきている今の状況の問題性を考える上で意義ある試みだった。

政府や政治家の圧力、テロや脅迫行為で中止に

ところが、開会の初日から電話・メール等で抗議・テロ脅迫が愛知県庁などに殺到した。企画展を批判した政治家は、河村名古屋市長、和田正宗参議院議員、小坪行橋市市議会議員、菅官房長官、柴山文部科学大臣、松井大阪市長、吉村大阪府知事、黒岩神奈川県知事（のち一部謝罪）。一方、「中止すべきでない」と発言した政治家もいた。福田栃木県知事、達増岩手県知事、杉本福井県知事などだ。政治家の発言に勢いをえたネット右翼らのテロ予告、脅迫によって、わずか3日間で企画展は中止に追い込まれた。河村市長は自ら展示を見て中止を要請しているのだから、明らかに憲法が禁じる検閲にあたる。中止の理屈として、彼は「表現の自由には一定の制約がある」などともっともらしいことを言っている。

しかし、これは誤りである。「一定の制約」をいうならフェイクやヘイト発言への規制しかない。憲法は、人々の自由を守るために、権力者に勝手なことをさせないための縛りである。表現の自由の核心は、権力を批判する自由を守ることにある。河村氏は、憲法の理解をはき違えている。また、「市民の血税でやるべきではない」などともいうが、表現の自由とは、すべての国民に知る権利を保障するものである。公的機関は、多様な表現の機会を保障し、少数の意見にも接することができるようにする態度がもとめられる。河村市長は、表現の自由を損ない、私たちの知る権利を侵害するものだ。

再開したが、問題はつづく

中止から約2ヶ月。トリエンナーレに出展している作家の抗議が巻き起こった。各界から抗議声明が出され、ネット署名も拡大した。市民・団体は、集会やデモ、スタンディングをほぼ毎日のように持続した。その結果、一部制限付きで問題も残しつつも再開にこぎつけた。だが、そこに横やりを入れたのが安倍政権だった。安倍首相の側近であった萩生田文科大臣は、自身の判断で文化庁補助金を不交付にすると発表した。手続きに不備があるというのは全くのデタラメであり、再開を許さないという現政権側の意思を示したのである。事実上2度目の検閲行為にあたる。これに対して、大村知事は「できるだけ早く法的措置を講じる」と発言し、現在、愛知県対国の争いの様相を呈している。



9月22日名古屋で開かれた全国集会にて

今回の問題は、あらためて憲法の表現の自由とはなにか？を鋭く問いかけている。けっして、私たちは、この問題に背を向けてはならないと思う。「自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」（憲法第12条）をもう一度思い起こそう。

<お知らせ> 11月9日(土)14時~PLP 会館での「憲法のつどい 2019」にて、愛知県民の会の山本みはぎさんのお話を聞く機会があります。ご参加ください！

初めての韓国旅行

筒井百合子

日韓関係がギクシャクし始めてから何か落ち着かない。友達とケンカして気まづくなったまま、という気分です。7000年前からお付き合いしてきたお隣どうし、もっと仲良くしなければ・・・と言いながら、実は私にとって朝鮮半島は未踏の地。まずは、どんなところか訪ねてみなくては・・・と思い立って、9月10日からソウルに3泊、夫と二人で出かけてきました。印象に残ったことを写真とともにレポートします。



今回泊まったのは、韓屋(韓国の伝統的な民宿)。家族ぐるみで歓迎してくださいました。オモニのスニさんは明るくホスピタリティ満点。秋夕(韓国のお盆)の日には伝統料理の朝食をいただきました。

2日目、板門店ツアーが急きょキャンセルになり(理由は不明)、DMZ(南北軍事境界線・非武装地帯)を訪ねました。日本人は少なく、中国や欧米からの観光客が多いようです。南北統一への悲願がひしひし伝わってくる雰囲気、全体として、現政権の意向が反映されているように感じました。



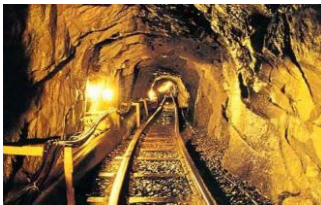
イムジン河の向こうが北朝鮮。遠方にケソン工業団地。



南北統一を願う無数のリボン



“力を合わせて、一つに”



北朝鮮が南を侵攻するために掘った「第3トンネル」をトロッコに乗って見学



ここにも少女像が2つあり、観光客が記念撮影。



昨年の南北首脳会談の成功をアピールするパネルがずらり

今回、ソウル市内の観光案内を英語でしてくれたのは、18歳の女子高生チャワンちゃん。ユースグッドウィルガイドというボランティアグループに紹介してもらいました。予習ノートを片手に、景福宮や歴史的な町並みを一生懸命説明してくれた後、美味しいランチ&ゴージャスなかき氷も一緒に食べて、大満足♡



チャワンちゃんに聞いてみました。「南北統一についてどう思う？」
「ん～もちろん統一されたらいいけど、今はあまりに体制が違うから時間がかかると思う。私が生きている間に実現したらいいな」

大学受験を控える中、一日付き合ってくれてありがとう。
「卒業旅行は友達と一緒に日本に行きたい！」
ハイ、待ってますよ～(ー)



今回の旅行で感じた韓国の印象は、とにかく皆親切でフレンドリー。困っていると向こうから声をかけてくれます。日本人だからと特別視するような雰囲気も全くありませんでした。でもそれに甘えて、私たちは過去の歴史を無かったことにするわけにはいきません。きちんと事実を学んだ上で、市民どうし互いにリスペクトして対等な交流を深めて行けば、国どうしの関係も良くなっていくでしょう。

無言館を尋ねて

安達みのり

この夏 信州上田にある戦没画学生慰霊美術館「無言館」を訪れました。生きて帰って絵を描きたい。と叫びながら日中戦争や太平洋戦争で死んでいった画学生たちの遺作を集めた美術館です。館主の窪島誠一郎さんが遺族を訪ね歩いて絵を集め、1997年に「無言館」を設立。画学生130人の600点を収蔵しています。



召集令状を受けて1週間後には出征するその間も、ふるりの風景や家族を描き、そのキャンパスには息子や孫を愛おしく見つめる家族の姿がありました。又、残されたスケッチ帳には、厳しい飢餓と死の恐怖にさいなまれながらも、最後まで絵を描くことへの情熱と、生きることへの希望が狂おしいほど溢れていました。もし戦争がなかったら、この画学生の中には、後に大家といわれる画家になったであろう人も、趣味に生きた人もいて、たくさんの絵を愛する人たちが日本の文化を創っていたであろうと思うと残念でなりません。「反戦」という言葉はどこにもありませんが、それが一層「戦争への道」を阻止しなければならぬと強く思いました。

無言館への交通アクセス 上田電鉄別所線「塩田町」駅下車
無言館のでんわ 0268-37-1650 休館日 火曜日



来年4月の「豊中市立人権平和センター」開設に向け、準備が進んでいます

山田雅美

これは、現在の豊中・蛍池人権まちづくりセンターをリニューアルし、今までの人権、子ども事業などに加えて、新たに戦争資料の常設展示を含めた平和事業を実施するというものです。

10月4日には、事業を実施する事業者の募集説明会が行われました。市の説明では、平和事業は基本的に市が直営で行い、事業者には個別の平和啓発事業を企画実施してもらおうと説明がありましたが、具体的なことは未だはっきりしません。

豊中に平和センターが作られることは長く豊中市民が願っていたことです。又、小・中学校生の平和学習のためにも必要な施設です。人権・子ども事業の充実と共に、意義ある施設となる様、市民として関心を持ち、センターの在り方に意見を言い、提案していくことが求められます。

(条例、又事業者の募集要項等は、市のホームページに掲載されています。)

「いちばん★ピースカフェ」にいらっしやいませ～

秋は大忙し！ いちばん星もいろんなイベントに参加します。ぜひ来てください。お手伝いも大歓迎！

★市民力フェスタ 10月27日10～15時 大塚公園にて
いちばん星名物！豚汁、コーヒー、手相占い、バザーなど
13:30より、ステージにて子ども向けに「平和の紙芝居」をします。その他、パフォーマンス、屋台、フリマなど、盛りだくさんです。

みのおピースフェスタでも

いちばん★ピースカフェを開きます。

美味しいコーヒーをどうぞ♪

11月4日 11時～「誰がために憲法はある」
3回上映。合間にライブ・コンサートや高校生企画など。

明るく元気に怒りたい人、いちばん星へ！

九条の会・豊中いちばん星

連絡先 FAX: 06-6849-0251

Eメール: toyonaka9jo@yahoo.co.jp

〒560-0021 大阪府豊中市本町1-1-1

市民活動情報サロン気付

URL: <http://9jo-ichibanboshi.jimdo.com/>

☆カンパの送金先☆

郵便貯金 口座番号 00980-4-116244

加入者名: 九条の会・豊中いちばん星